

# 平成24年度 事業実績報告書

## 申請者の概要

申請者	団体名		泉南市商工会
	代表者職・氏名		会長 辻野 常彦
	所在地		〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜2-5
	担当者	職・氏名	事務局長 松下 三郎
		連絡先	電話番号（直通）：
F a x:			072-483-5321
		E - m a i l:	<a href="mailto:info@sennan-scior.jp">info@sennan-scior.jp</a>
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率）  ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと		① 昭和47年7月10日 ② 7名（7名） ③ 泉南市 ④ 2, 321事業所（平成18年事業所統計による） ⑤ 1, 687事業所（平成18年事業所統計による） ⑥ 1, 167事業所（組織率%）50.2%	
□主な事業概要（定款記載事項等）			
(1) 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 (2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 (3) 商工業に関する調査研究を行うこと。 (4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 (5) 展示会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 (6) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 (7) 商工会として意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 (8) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 (9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 (10) 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。 (11) 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 (12) 商工業者の福祉厚生に資する事業を行うこと。 (13) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 (14) 外国人研修生の受け入れに関する事業を行うこと。 (15) 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。			

## 泉南市商工会

### (1) 事業の目標

地域小規模事業者の抱える個々の課題については巡回訪問等により課題を把握し、経営相談や専門相談により迅速に対処していきたい。そのためにも、各種支援制度や助成金制度等の情報発信を行いすばやく対処ができる体制を整える。

一方、地域活性化事業等の取り組みについては、前期の巡回訪問により情報を得た事業所のニーズに基づき計画して、通常の巡回訪問や窓口相談のほかに、“事業者の抱える課題は何か”を常に意識して接することに努め、各種の支援制度や助成金制度などの情報の提供を行い、事業所が気軽に相談できるよう、出来るだけ先方に訪問するように心がけている。地域活性化事業においては前向きに取り組む事業所に対し早く実績が上がるような取り組みを心がけ、この方々がリーダーと成り次代の牽引者となっていただきたく思う。

### (2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

経営相談支援事業においては、各事業所のニーズを十分に把握した上で、迅速かつ的確な回答が出来るよう職員の知識向上を強化し体制を整えた。特に巡回に力点を置いた活動を行い、経営環境の変化等にタイムリーに対応した。

専門相談支援事業については、特に景気の低迷による売上減少から資金繰りが厳しい事業所が多く、各事業所の実態に合わせた返済に無理の無い融資金の供給を心掛けた。特にキャッシュフローが少なく返済原資が出てこない事業所については、事業計画書の作成等キャッシュフローの増大を図る為の経営指導を合わせて行った。

地域活性化事業については、阪南市商工会・熊取町商工会・岬町商工会他泉州地域全体の広域実施を心掛け、効率的に効果の上がるように実施した。

### (3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

経営相談支援事業においては、巡回による事業所訪問での実態把握により、迅速かつ的確な支援を提供できた。また、広域多種に渡る諸問題に対応し、相談事業者に一步踏み込んだ相談を実施した事で効果が大きかったと思われる。

また、地域活性化事業については、ものづくり展をはじめ多くのイベントに多くの事業所、特に売り上げアップを図るため、販路開拓や商品開発などに取り組もうとする事業所が数多く参加し、PR活動等前向きな姿勢で事業に参加していただけた。

### (4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

経営相談支援事業においては、中小事業者の多くはまだまだ深刻な経営課題を抱えている事が伺える。一方、活性化事業においては前向きに取り組む事業者が増えているが、多くの事業者は高齢化し、事業維持が精一杯の状況にあると思われる。

また、地域活性化事業については、即売イベントや展示会について、参加申し込み事業所については、今年度が初めての事業所が増えたものの、まだまだ参加企業が一部に限られており、今後も参加者が広く行き渡るよう、定期的・継続的なイベントや展示会を開催する必要があると思われる。

### (5) 来年度への取り組み

経営相談支援事業については、指導員数も増え、利用頻度の低い事業所への巡回訪問に力点を置き、各種の支援や助成制度などの情報を提供し、潜在的な問題点等を発掘し早期解決にむけた取り組みをしてゆきます。また、専門的な支援を望む事業所には積極的に対応し、根本的な取り組みが継続的に出来る支援体制を整える。

活性化事業においては、今年度も、広域事業を数多く行ったことで新規参加者が増え、来年度もより多くの事業所が参加できるよう取り組んでゆきたい。本年度は多くの事業所が積極的な姿勢で参加しており、競争心のようなものも伺えた。より充実した、かつ効率的な形で事業を実施するため、引き続き広域連携で地域活性化に取り組んでいく。

泉南市商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

事業所のカルテ化サービス提案においては支援内容を提示することで、ポイントの支援ではなく長期に幅広く支援してゆくという姿勢を相談事業者にわかるよう提案した。一方効果的に支援する事に留意し、必要に応じて専門家を招き、問題解決に本格的に取り組むよう心がけ、市内事業所が抱える諸問題に対し、経営相談支援を行った。

その結果、相談事業所に当方の気持ちが伝わり双方腰をすえて問題解決に取り組む姿勢が出来たように思われる。又各種計画書の作成支援することで、相談側にも改善内容が見えやすくなり問題点の早期解決に繋がったように思われる。

精肉店：市内一丘団地にて営業。この団地については建物が老朽化し多くの住民が団地から去り、売り上げが激減。対応として、肉については外販を行い、鮮度が少し落ちたら、ホットデリカとして提供し、弁当として受注販売している。今回の相談内容は①新商品の開発による販路支援②借入返済額の軽減③記帳の支援による財務内容の把握であったが、店売りの中心であるホットデリカについて新商品の開発もでき、今後の売り上げ増も見込めると思う。また返済条件緩和支援においては個々の融資をすべて1万円にお願いでき、運転資金も何とか確保できるようになった。記帳についても商品群による売り上げ貢献度や次年度への売上げ目標の立て方について説明し、理解していただいた。

	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	213	243	114.1%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	50	36	72.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	12	15	125.0%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	33	34	103.0%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	5	6	120.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	3	3	100.0%	5
記帳支援	支援数	103	95	92.2%	4
労務支援	支援数	56	60	107.1%	5
人材育成計画作成支援	事業所	0	0	#DIV/O!	
マーケティング力向上支援	事業所	0	2	#DIV/O!	5
販路開拓支援	事業所	44	24	54.5%	3
事業計画作成支援	事業所	3	3	100.0%	5
創業支援	事業所	3	2	66.7%	3
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	0	1	#DIV/O!	5
コスト削減計画作成支援	事業所	57	71	124.6%	5
財務分析支援	事業所	51	58	113.7%	5
5S支援	事業所	10	5	50.0%	3
IT化支援	事業所	0	0	#DIV/O!	
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	#DIV/O!	
結果報告	事業所	215	252	117.2%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

専門相談の支援に関し、労務においては各種助成事業の紹介や取り組み・労使双方の問題解決に心がけ、税務や法務相談においては本格的な相談の前の事前相談として気軽に相談できるようお願いした。法律相談においては急ぐ内容について、相談日以外においても我々職員を仲介し対応方法などのポイントを示していただいた。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務支援	継続	相談件数	3	3	100.0%	5
法務支援	継続	相談件数	6	6		5
労務支援	継続	相談件数	12	12	100.0%	5
					#DIV/O!	

泉南市商工会

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

地域活性化の事業においては、参加事業所の増大と充実を支援のポイントと捉え、参加事業所の目線で事業を実施した。デザイン活用による商品力強化については、テーマが良かったのか積極的に取り組む事業所が多く、成果があったと思われる。

また、ものづくり展においては、イオンのセントラルコートに移して2年目であり、去年を上回った来場者があり、また、出展者も説明や商品展示に工夫の跡が見られた。

りんくう地域活性化事業においては、立ち上がりが大きくずれたが、交流会では前向きな意見も出、研修会参加者には内容に満足していただいた。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
	商業活性化事業	30	29	96.7%	81.7	売上げアップを図るため商品開発に取り組もうとする事業所	30	25	83.3%	4
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	

(2) 広域事業(幹事業のみ)

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
○	地域金融機関との支援ネットワーク強化事業	40	42	105.0%	80	金融支援・経営支援実施事業所	6	9	150.0%	5
○	コンテンツ活用促進セミナー	40	41	102.5%	76	スマホやタブレットに熱心を持って取組んだ事業所数	20	39	195.0%	5
	2012おおさか泉南産フェスタin関空	20	20	100.0%	78.5	売上アップを図るため商品開発に取り組もうとする事業所	10	9	90.0%	4
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	
				#DIV/O!					#DIV/O!	

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

泉南市商工会

事業名		商業活性化事業											
想定する実施期間		24年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること											
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	泉南市の商店街は年々空き店舗も増え、消費者も個店離れしつつある中、営業力に劣る小規模事業者が、心温まるサービスや他にない工夫を凝らした商品の創出等により消費者に対し再度来店動機が生まれるよう事業者自身の経営意識の向上を促し、魅力ある商品の提案により個店の売上アップを図ることで賑わいを取り戻す事を目的とする。											
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内の商店、飲食店、サービス業等約400社											
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>[商品開発セミナー]</p> <p>第一回 売れる商品開発の事例紹介セミナー 日 時：平成25年2月15日(金) 18時～19時 19時～個別相談 講 師：中小子行診断士 葉田 勉 氏</p> <p>第二回 売れる商品開発セミナー 日 時：平成25年2月23日(土) 18時～19時 19時～個別相談 講 師：中小子行診断士 葉田 勉 氏</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>泉南市と商工会にて市内商業地にて空き店舗対策事業を行っており、情報の交換を行い、開発した商品について空き店舗を借りて販売したい場合、安く借りることも可能となっている。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>商品開発に取り組む事業所に対し相談支援をし、専門家の個別相談も行きカルテ化している。</td> </tr> </table>								③市町村連携	泉南市と商工会にて市内商業地にて空き店舗対策事業を行っており、情報の交換を行い、開発した商品について空き店舗を借りて販売したい場合、安く借りることも可能となっている。	④相談相乗	商品開発に取り組む事業所に対し相談支援をし、専門家の個別相談も行きカルテ化している。
	③市町村連携	泉南市と商工会にて市内商業地にて空き店舗対策事業を行っており、情報の交換を行い、開発した商品について空き店舗を借りて販売したい場合、安く借りることも可能となっている。											
④相談相乗	商品開発に取り組む事業所に対し相談支援をし、専門家の個別相談も行きカルテ化している。												
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	29	支援実績率	96.7%	満足度	81.7%					
事業の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	以前より売り上げの増加を図るため、商品開発の必要性を考えていた事業所においてはすでに試作品や新分野の一部進出予定である事業所が5件ほどあり、又、新商品を開発したいが何をどうすれば良いか、これといった目標や具体案を持っていなかった事業所も、本事業に参加し、セミナーや個別相談を受けた結果、売り上げの増加を図るための具体案を考えるようになった。											
		指標	売上アップを図るため商品開発に取り組もうとする事業所										
		数値目標	30	実績数値	25	目標達成度	83.3%						
	成果の代表事例	キャラクターグッズの企画、製造卸事業所がアンテナショップとして使っていたスペースの7割近くをガーデン用小物や洋風キッチンや洋風インテリアに似合いのセンスある商品を仕入れ、店頭販売したところ、若い主婦層の支持を得ている。											
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	#DIV/0!							
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	実際の取組はまだこれからであり、今後も積極的に関わりを持って支援してゆく必要があり、取組事業書もまだまだ増やしてゆく必要がある。											

泉南市商工会

事業名		2012おおさか泉南産（せんなんもん）フェスタin関空																				
想定する実施期間		24 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																				
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	これまで南泉州2市2町の商工会の連携事業においてB to Cについては商工フェスタ等で行ってきたが、消費者についてはどうしても開催地を中心とした近隣地域であった。このような状況の中、関西国際空港においては、中国を中心とした東南アジアからの観光等の基地となっており、今回は泉南・阪南・熊取・岬の2市2町の特設コーナーを設置し、販売を行い、空港利用者の皆さんに2市2町の魅力ある商品を知っていただくことを目的とする。																				
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南・阪南・熊取・岬の商工会地区において魅力ある商品を提供できる事業者について、各商工会4店舗を選定する																				
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>イベント名：2012' おおさか泉南産（せんなんもん）フェスタin関空                      開催時期：9月2日（日）                      広報等：関空発行のチラシ折込、広報等                      泉南・阪南・熊取・岬の4商工会で本事業について参加者募集案内し、参加希望事業所については各商工会にて店舗を選んでいただく。尚、現時点では会場の都合もあり、各市4店舗を目標とする。</p> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>②広域連携</td> <td>泉南・阪南・熊取・岬の4商工会が連携することで特設コーナーを設置し、南大阪地域のえりすぐりの商品を広く紹介した。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>本事業は南泉州5市3町が主催する事業であり、泉南市、阪南市、熊取町、岬町の商工会と行政が相互連絡を取り、情報の共有化を図ることでスムーズな運営ができた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>本事業に参加した事業所より、商品開発の取組み事業者等12件がカルテ化された</td> </tr> </table>							②広域連携	泉南・阪南・熊取・岬の4商工会が連携することで特設コーナーを設置し、南大阪地域のえりすぐりの商品を広く紹介した。	③市町村連携	本事業は南泉州5市3町が主催する事業であり、泉南市、阪南市、熊取町、岬町の商工会と行政が相互連絡を取り、情報の共有化を図ることでスムーズな運営ができた。	④相談相乗	本事業に参加した事業所より、商品開発の取組み事業者等12件がカルテ化された								
	②広域連携	泉南・阪南・熊取・岬の4商工会が連携することで特設コーナーを設置し、南大阪地域のえりすぐりの商品を広く紹介した。																				
③市町村連携	本事業は南泉州5市3町が主催する事業であり、泉南市、阪南市、熊取町、岬町の商工会と行政が相互連絡を取り、情報の共有化を図ることでスムーズな運営ができた。																					
④相談相乗	本事業に参加した事業所より、商品開発の取組み事業者等12件がカルテ化された																					
計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	20	支援実績率	100.0%	満足度	78.5%														
事業の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>これまでの事業においては近隣の商工会や商工会議所との連携であり、今回のような関空という、おそらく出展事業所名を知る人が極めて少ない場所での事業であり、各事業所の商品力と販売力が問われるイベントであった。このような状況の中、商品の開発はもとより①販路開拓②製品の改良③支持層の把握など各々の目標をもって参加していただいた。個票の『企業がどう変化したか』については多くの事業所が意欲的に参加いただいたことがうかがえ、新規顧客の開拓に向け前向きな経営姿勢に変化している状況がうかがえ、大阪南部の2市2町の魅力ある商品を知っていただけた。</p> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td colspan="6">売上アップを図るため商品開発に取り組もうとする事業所</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>10</td> <td>実績数値</td> <td>9</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="2">90.0%</td> </tr> </table>							指標	売上アップを図るため商品開発に取り組もうとする事業所						数値目標	10	実績数値	9	目標達成度	90.0%	
	指標	売上アップを図るため商品開発に取り組もうとする事業所																				
	数値目標	10	実績数値	9	目標達成度	90.0%																
成果の代表事例	国内唯一の丸編み機での浴用ナイロンタオルを普及させるため、有名ホテル用の製品を無料で提供し、同じタイプのタオルがイオンで販売されていることを説明した。翌日、イオンで浴用タオルを販売している得意先から、日曜日に浴用タオルが何故かよく売れたとの報告があった。																					
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)				#DIV/0!															
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度は泉南市が泉州5市3町の幹事であったので2市2町の特設ブースを何とか確保できたが、運営面で様々な問題もあり、次年度について4商工会での広域連携事業としては見送ることとなったが、各市町担当課及び、泉州地域プロモーション実行委員会との連携を図りながら、各商工会個別の対応として、泉州賑わいフェスタに参加することになった。																				

泉南市商工会

事業名		地域金融機関との支援ネットワーク推進事業							
想定する実施期間		24 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地域零細企業・中小企業等の事業活動を効果的に支援するためには、資金支援と経営支援の連携がより必要となってきた。そこで、地域金融機関である信用金庫・地方銀行と連携し、地域零細企業・中小企業を支援するための地域支援ネットワークを構築し、それら企業のスムーズな事業展開を応援するとともに、地域経済の活性化に寄与する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉州地域の地域零細企業・中小企業を支援対象とする。特に、自ら経営課題解決のため、積極的に経営改善努力をしている前向きな企業を支援する。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	I. ネットワーク会議（支援チーム）の創設 ・地域金融機関（※）3～4金融機関を予定）、日本政策金融公庫、信用保証協会、市町村（泉南市・阪南市・熊取町・岬町）の参画を得て、ネットワーク会議（支援チーム）を組成する。【取組開始時期：平成24年6月】 （※）池田泉州銀行、紀陽銀行、大阪信用金庫とのネットワーク構築に向けて調整予定。なお、4市町内の地域金融機関店舗数が少ないことを勘案し、きのくに信用金庫（阪南市・熊取町に店舗あり）の参画についても検討。  II. 金融セミナー開催。 ・「地域支援ネットワークの取り組み」「大阪府金融機関提案型融資制度」等をテーマとした金融セミナーを開催する。 ・金融セミナー等で発掘された案件を 各商工会・地域金融機関 が相互に連携してフォローアップを行う。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	1. 平成24年9月24日(月) 泉南地域「地域支援ネットワーク会議」参加。 ・大阪府商工労働部金融支援課 課長補佐 柳生国良氏 ・大阪府商工労働部金融支援課 総括主査 岡本隆之氏 2. 平成24年12月4日(火)「中小企業のための資金調達セミナー」講師。 ・大阪府商工労働部金融支援課 総括主査 岡本隆之氏						
		②広域連携	阪南市商工会・熊取町商工会・岬町商工会と広域連携で実施。 1. 平成24年9月24日(月) 泉南地域「地域支援ネットワーク会議」組成。 2. 平成24年10月1日付で、開業サポート資金【地域支援ネットワーク型】取扱いのための協定書締結[4商工会(泉南、阪南、熊取、岬)・地域金融機関(池田泉州銀行・紀陽銀行・大阪信用金庫)・大阪府中小企業信用保証協会の三者間で締結] 3. 平成24年12月4日(火)「中小企業のための資金調達セミナー」開催。						
③市町村連携	4商工会地域の市町(泉南市・阪南市・熊取町・岬町)が参加。 1. 平成24年9月24日(月) 泉南地域「地域支援ネットワーク会議」組成。								
④相談相乗	開業サポート資金【地域支援ネットワーク型】取扱い案件6件。								
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40	支援企業数(実績)	42	支援実績率	105.0%	満足度	80	
事業の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	これまでは、融資案件をほとんど日本政策金融公庫宛に相談していたが、今般平成24年9月24日(月)泉南地域「地域支援ネットワーク会議」組成を契機として、地域金融機関(池田泉州銀行・紀陽銀行・大阪信用金庫)と顔の見える関係が構築されたため、相談を持ち込む幅が大きく広がった。 また、平成24年10月1日付で「開業者の支援に関する協定書」、及び「個人情報等の取扱いに関する協定書」締結により、開業サポート資金【地域支援ネットワーク型】の取扱いが可能となり、地域の開業者をサポートするための制度が大きく前進した。							
		指標	金融支援・経営支援実施事業所数						
		数値目標	6	実績数値	9	目標達成度	150.0%		
成果の代表事例	開業サポート資金【地域支援ネットワーク型】取扱い開始に伴い、池田泉州銀行と連携し、地域での開業者に対する支援を2件(泉南市商工会1件、阪南市商工会1件)行なった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	#DIV/0!			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフ	24年度については、地域にまたがった全体会議としたため、具体的な案件や支援に繋がりにくかった面は否めない。 25年度は、金融セミナーと交流会(個別相談会)をセットで2回開催する予定であるが、24年度の反省に立って、交流会については地域別に分かれて行う予定である。							

泉南市商工会

事業名		コンテンツ活用促進セミナー							
想定する実施期間		24 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	携帯電話の新製品の大半をスマートフォンが占めるなど、急速に普及するスマートフォンやタブレット端末はビジネス効率化やコスト削減、そして顧客獲得ツールとして注目を集めている。そのような状況の中、本セミナーにおいては小規模事業者がスマートフォンやタブレット端末を導入するメリットや成功事例を紹介し、基礎知識や具体的な活用方法について分かりやすく解説することにより、受講者がそれらのデバイスを導入するきっかけをつくり、コンテンツの活用の促進につなげることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種を問わず、スマートフォンやタブレット端末に少しでも関心がある事業所を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>[コンテンツ活用促進セミナー]</p> <p>タイトル スマートな大人になるスマートフォン活用法</p> <p>日時 平成25年1月22日(火) 14時～16時</p> <p>内容 第1部 スマートフォン基礎知識 第2部 スマートフォン使いこなし講座</p> <p>講師 株式会社レイ・クリエーション 営業企画部 藤原 邦夏 氏</p> <p>&lt;事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果) の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <p>①府施策連携 大阪府経営支援課新事業創造グループ並びに大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会との打合せ会議を2回開催するなど連絡調整を密にし、事業を実施した結果、講師・内容ともに受講者の満足度が高いセミナーが出来た。</p> <p>②広域連携 泉南市商工会、阪南市商工会、熊取町商工会、岬町商工会が広域連携して事業を行ったことにより、主な効果としては広範囲に広報することが出来、幅広い業種からの参加者が集まった。</p>							
	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40	支援企業数(実績)	41	支援実績率	102.5%	満足度	76
事業の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>受講者アンケートの結果、ほとんどの事業者が「受講前よりスマートフォンやタブレット端末に対する興味・関心が増した」と答えており、当初掲げていた「スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末に親しみを持つことができ、それらを活用してみようと考ええるきっかけになる」という目標はおおむね達成することが出来たと思われる。今後はこれをきっかけとして、コンテンツの制作等に取り組もうとする事業者を必要に応じて支援していきたい。</p>							
		指標	スマホやタブレット端末に関心を持って頂けた事業所数						
		数値目標	20	実績数値	39	目標達成度	195.0%		
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名刺やスケジュール管理等パソコンと連動して一元管理できるようになった。(3社)</li> <li>・社内の連絡に無料通話アプリの導入を検討など。</li> </ul>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	#DIV/0!			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>参加者の業種やレベルがまちまちであったことから、セミナーの内容を考えるのに苦労した。今後は受講者アンケートの意見にもあったように、業種別・レベル別に、またワークショップ形式にするなどより実践的な内容にする工夫が必要であると感じた。</p>							